

胆振東部地震の被災森林の早期再生に関する課題

森林作業道の復旧に対する課題について

被災木の腐朽が進み特殊地拵の実施は急務であり林業専用道の復旧に加え、恒久的に使用可能な簡易で丈夫な森林作業道の復旧を並行し実施することが重要となるが、堆積地の軟弱地盤に設置しているため、

- 路盤材の敷設が必要（アスファルト再生骨材等）
- 申請幅員3.0m + α の余裕幅員が必要
- 流末処理時の簡易作工物（木製柵等）の設置が必要
- 作業道設置後の維持管理が必要

被害地造林に対する課題について

崩壊斜面において植栽可能な箇所は、土砂流出の防止や崩壊斜面の土壌安定を図るため早期の植栽が重要である。

- 被害地造林対象地の簡易判別及び精査
- 出材積30m³以下で実施する地拵工程の拡充
- 被害地造林実施後に発生する苗木枯損に対する支援

森林所有者への支援に対する課題について

森林所有者の高齢化や震災による森林経営意欲の減退が懸念されており、再造林に向けた森林経営意欲の喚起が重要となる。

- 路網復旧計画を踏まえた施業プランの提示
- 受益者負担の軽減対策

令和4年7月27日

苫小牧広域森林組合
代表理事組合長 小坂 利政